

入学者受け入れ方針

本専攻では、仏教精神に基づいた深い人間理解と人間尊重の価値観を基盤とし、作業療法士に必要な知識と技術を学び、社会貢献ができる女性を育成する。

そのため、ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーに定める教育を受けるために必要な、次に掲げる基礎的な知識・技能及び関心・意欲を備えた女性を求める。

このような入学者を適正に選抜するために、教科（国語、英語）の試験、小論文、面接など多様な選抜方法を実施する。

（１）知識・技能

1. 高等学校までの「国語」、「英語」等の学習を通じて、作業療法士を志す基盤として必要なコミュニケーション能力と姿勢を備えている。

（２）思考力・判断力・表現力

2. 建学の精神である「思いやりの心」を持ち、障害児・者を理解し、寄り添うことができる。
3. 作業療法士として必要な知識・技術の習得に、熱心に根気よく取り組み、作業療法の幅広い課題について、関心がある。

（３）主体性・多様性・協働性

4. 作業療法士としての能力を習得するため、自ら積極的に学び、自己能力を開拓できること、他者とのコミュニケーション力、問題を解決できる論理的思考を身につけようとする意欲がある。